

令和元年度第2回 瀬戸内市太陽のまち創生有識者会議 意見要旨

日時 令和2年2月14日(金)
午前10時00分～午後0時10分
場所 瀬戸内市役所 2階 大会議室

(1)「瀬戸内市人口ビジョン」の改定案について(意見交換・質疑応答) 資料2、3

【委員】

社会増減の推移について、2012年から転入・転出とも増加しているが要因は何か。

【企画振興課】

住民基本台帳法改正により、外国人住民も住民基本台帳法の適用となったことによるもの。外国人の職業実習生も含まれるため、転入・転出の両方でカウントされている場合もある。

【委員】

今後の人口減少対策を考えていく上で、人口増減には地域差があるため、地域ごとの取組を考えるべきではないか、

【企画振興課】

赤穂線沿線では人口が増えている一方、中山間部では過疎化が進んでいる地域もある。地域ごとの傾向も分析したうえで、取組を検討していきたい。

【委員】

国立社会保障・人口問題研究所の2010年推計と2015年推計を比較すると推計が上振れしているが、その要因は何か。

【企画振興課】

ある特定の施策が要因ということではなく、仕事づくり、移住・定住施策、観光施策、子育て・教育施策等、様々な取組が影響し合った成果だと捉えている。

(2) 第2期「瀬戸内市太陽のまち創生総合戦略」(案)について 資料2、4、5

<全般>

【委員】

総合戦略の内容は総花的である。瀬戸内市独自の取組などを掲げて、それを掘り下げるべきではないか。

【企画振興課】

地方創生の取組は、「まち」、「ひと」、「しごと」それぞれに起点を置いた取組を総合的に行うことで効果が出るものと考えているため、幅広い施策を掲げている。事業実施においては、下位計画の中で内容を掘り下げ、優先順位をつけて取り組んでいきたい。

【委員】

企業とのパートナーシップ等を強化することで、市の取組への参画が得られ、社員の瀬戸内市への移住も促進されるのではないか。

【企画振興課】

地方創生は市役所の取組だけでは達成できないため、産官学金労言など多様なステークホルダーの皆様と協力して進めていきたい。

【委員】

第2期総合戦略の策定にあたり 邑久高校生にアンケートを実施しているが、次の市の戦力となる高校生の意見はなるべく取り入れていただきたい。

【企画振興課】

アンケートやワークショップでの高校生の意見を十分反映して、次期総合戦略を策定する。

<しごとづくり>

【委員】

「産業の発展支援」では農水産業の活性化が1点目に書かれているが、人口維持や税収獲得を目的とするならば、大企業の誘致などを上位に掲げるべきではないか。優先順位を明確にして取り組んでいただきたい。

【企画振興課】

企業誘致は「新たなしごとづくりの支援」に掲げている。市の主要産業である農水産業の支援も、企業誘致と並び、非常に重要な取組だと考えている。どちらも並行して取り組んでいきたい。

【委員】

食料自給率が低下している中で、農水産業は非常に重要な産業であり、引き続き支援していただきたい。

【委員】

民間が瀬戸内市内に進出する際などに、固定資産税の減免などの支援ができないか。

【企画振興課】

現状を調査し検討する。

<出産・子育て・教育>

【委員】

合計特殊出生率が低い要因は何か。市内に産婦人科はあるのか。

【企画振興課】

合計特殊出生率は低い一方、子どもの数はあまり減っていない。第1子を産んだのちに転入する人が多いと推測する。市内には産婦人科がないため、第1子を市内で産んでもらえる環境整備についても検討する必要がある。

【委員】

邑久高校では地域学「セトリー」に力を注いでいるが、小学校・中学校においても地域に入って自分たちで考える場としての地域学を取り入れるべきではないか。

【企画振興課】

郷土愛を醸成する観点でも、小・中学生の地域学は非常に重要だと考えている。市内

の施設や企業、文化・芸術などを知ってもらえるよう取り組んでいきたい。

<まちづくり>

【委員】

瀬戸内市内では単身用のアパートや中期滞在できるビジネスホテルの需要があるにもかかわらず供給ができていない。ニーズにあった取組を進めるべきではないか。

【企画振興課】

要望はあるが市が直接行うことは難しいため、企業等と連携して考えていきたい。

【委員】

赤穂線沿線の住宅が増えており、赤穂線沿線を基本とした住宅事業や商業施設の展開を計画的に進めるべきである。また赤穂線沿線を中心として、公共交通などによるコンパクト&ネットワークを展開すべきではないか。

【企画振興課】

市内の小さな拠点を活かしつつ交通ネットワークでつなぐ取組を進めていきたい。

<情報発信>

【委員】

市の取組や観光情報等の情報発信が何より重要だと考える。市を魅力的に情報発信する取組を継続して行うべきではないか。

【企画振興課】

市の施策や市民活動、観光情報や子育て支援情報などについて、地方創生推進交付金なども活用し、積極的に取り組んでいきたい。

<シビックプライド>

【委員】

地方創生には郷土愛の醸成（シビックプライド）が非常に重要である。何か新たな取組を行っていくべきではないか。

【企画振興課】

シビックプライドの指標は市民まちづくり意識調査（隔年で実施）で調査項目としてある。引き続き、シビックプライドの醸成に向け知恵を絞っていきたい。

<多文化共生>

【委員】

今後外国人住民が増えることも予測されるため、多文化共生や外国人の受け入れ態勢について明確にするべきではないか。

【企画振興課】

第2期総合戦略に追加する。

<地域内経済循環>

【委員】

地域内経済循環の実現は非常に重要だと考えるが、具体的な施策は。

【企画振興課】

地域エネルギーの地産地消によりエネルギー消費を域内に留めることや、地域通貨が考えられるが、具体的な内容は今後考えていく。学校給食への地産地消の推進は既に取り組んでいる。

【委員】

地域内経済循環を検討する上で、産業連関表を作成するべきではないか。

【企画振興課】

単市での作成は難しいため、近隣市町村や岡山連携中枢都市圏との連携も含めて研究していきたい。

<その他>

【委員】

ハンセン病療養所世界遺産登録も引き続き推進していただきたい。

【企画振興課】

引き続き取り組んでいく。

【委員】

犬島との交通を確保し、瀬戸内芸術祭の来場者の取り込みを考えるべきではないか。

【企画振興課】

瀬戸内海沿岸地域と連携した周遊観光についても考えていきたい。

【委員】

市役所内の横連携が弱い。様々な取組において横連携を図り進めていただきたい。

【企画振興課】

当課が主導して連携を図っていきたい。